



# 日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043 (222) 7207 番

98.2.23 No. 4739

## 98春闘に向けて

# ストライキ体制確立を

### 第38回定期委で闘争方針決定!

第38回定期委員は、2月20日千葉市民会館において開催され、98春闘勝利、強制配転者の原職復帰をはじめとした闘いの勝利に向けて、ストライキ体制を確立する方針を決定した。

委員会は、議長に高木委員(館山支部)を選出して議事が進められた。はじめに、中野委員長が別掲のとおり、98春闘をはじめ正念場を迎えた国鉄闘争勝利に向けて総決起を訴えた。続いて、議案の提起を受け、活発な質疑の後、闘いの方針が満場一致で採択された。

### 98春闘に総決起を

われわれは、98春闘勝利に向けて、「大失業攻撃にたち向う新たな春闘を！」のスローガンを掲げ、次の課題を中心とした要求の実現のために、3月下旬を山場としたストライキ体制を確立する方針を決定した。

- (1) 三八〇〇〇円の大増賃上げ獲得。
- (2) 55歳以降の賃金引下制度の撤廃と、年金支払い年令の引き上げに際した退職年令の引き上げ。
- (3) 第二基本給制度の撤廃
- (4) 差別なき基準昇進制度の確立。
- (5) 貨物格差粉砕。

また、98春闘と結合して、次の課題の解決を求め、3月末に向けて集中した闘いを展開する。

- (1) 強制配転者の原職復帰  
ー 運転士資格保有者の士職登用。
- (2) 反合・運転保安確立ー

- 60歳まで働ける労働条件の確立。
- ① 3月ダイ改合理化粉砕ー抜本的な仕業緩和
- ② 運転保安確立に向けた経営姿勢の抜本的な転換。
- ③ J R貨物の動乗動再改悪阻止ーJ R東日本の構内作業全面外注化阻止。
- (3) 清算事業団一〇四七名の解雇撤回・原職復帰。

さらに、98春闘の過程を通して、全力で次の組織的課題・闘争課題の前進を図るために、全力で闘いぬく。

- (1) 危機にたつJ R総連解體ー組織強化・拡大、「新しい世代の動労千葉」を創りあげるための飛躍と団結強化。
- (2) 闘う労働運動の新しい潮流の本格的な発展と、新たな時代に対応した労働運動の路線形成。
- (3) 労働法制改悪阻止、新ガイドライン関連法(有事立法)粉砕に向けた闘いの前進。

### 直ちに闘争体制を

闘いの山場は3月下旬だ。直ちに全支部で闘争体制をつくりあげよう。

▼ 3月ダイ改・大月駅事故に踏まえた運転保安をめぐる要求はすでに連日のように団体交渉が行われている。いつでもストライキに起る恒常的スト体制を強化し、新たな大合理化攻撃と運転保安の解体状況に対し、反撃を開始しよう。

## 質的転換を 中野委員長挨拶 (要旨)

本委員会の最大の任務は、98春闘をどういう方針で闘うかをきめることだ。春闘は、昨年の世界経済の崩壊により今までの在り方の質的転換が問われている。アジアの経済危機ー株の同時暴落ー北海道拓銀・山一証券の倒産など、98年は大失業と戦争の本格的到来の時代となるなかで、今の政治・経済あらゆる情勢を認識し、どういうスタンスで闘うのが力になる。

98春闘に向けた日経連報告のタイトルは「危機からの脱出ー第三の道を求めて」と、危機感あふれたものになっている。日経連会長は①危機の時代の認識②新しい価値観③構造改革の断行という三点を主張している。危機脱出のため、労使関係から社会のしくみまで変えるという攻撃だ。核心点は終身雇用・年功序列賃金ー労働三法の改悪であり、社会福祉・年金・医療保険制度の改悪である。そしてそのために日本独自の第三の道を「労使安定策」をもって進むと主張している。攻撃は、闘う労組の根底的解体、国鉄闘争解體に向かうことだ。

今最大の問題は金融危機だ。橋本内閣は金融機関救済に30兆を投入しようとしている。阪神の被災者には一文の力もかけないのにこんなことがまかり通っているのか。これは資本主義の終わりの初まりを示している。今度の春闘は労働者の生活を守る重要な闘いだ。労働者は一同に会して闘わなければならない。資本主義にNOという労働運動を創りあげよう。動労千葉は三万八千円の賃上げと、年金支給年令にあわせて退職年令の引き上げを要求する。貨物は依然経営危機が続く。旅客の仲間も自らの問題として受けとめよう。

春闘過程は国鉄闘争も正念場をむかえる。J R負担問題が本日閣議決定された。あわせて一〇四七名問題も年度末から五、六月にむけてヤマ場を迎える。

春闘のもうひとつの柱が強制配転者の原職復帰。運転保安と結合して一歩でも二歩でも前へ進めるようガンバロー。

▼ また、闘争の山場に向けて、強制配転復職要求署名を最終集約し、不当労働行為根絶に向け怒りの声を当局につきつけよう。大月駅事故に示された運転保安の危機を打破するためにも、ベテランの運転士を職場に戻す以外ないことははっきりとしていいる。今こそ風穴を開けよう!

▼ またわれわれは、3月8日、大失業攻撃にたち向う新たな春闘を創りあげるために、労働者総決起集会を呼びかけている。

全力で結集体制を創りあげよう。

▼ 一〇四七名の解雇撤回闘争も正念場だ。政府は20日、J R追加負担を含む、旧国鉄債務の

処理に関する法案を閣議決定した。これと連動して、一〇四七名の闘いに終止符を打ち、国鉄闘争を解体しようとする攻撃が一挙に激化することは間違いない。闘いのときは来たのだ。

▼ さらにもう一点、政府は、ついに労働基準法の改悪案を国会に上程した。労働者の権利と団結を全て奪う内容だ。しかも四月には、有事立法を閣議決定すると言っている。情勢は重大な転換点にさしかかっている。

こうした一切の課題をかけた、98春闘をストライキで闘おう。全支部で、直ちに闘いの体制をつくりあげよう。